

# 令和元年度 第2回 仙台市情報モラル教育推進会議 開催

令和元年11月6日（水曜）実施

## 令和元年度情報モラル教育に係る本市の取組

第1回情報モラル教育推進会議（令和元年5月15日実施）での提言を踏まえ、以下の取組を進めています。

### 1 家庭における推進検討部会（家庭部会）

- ・遊びながら家庭で情報モラルについて学べる内容で、親子の対話のきっかけとなるリーフレットの作成及び配付

### 2 学校における推進検討部会（学校部会）

- ・児童生徒の情報モラルの実態把握
- ・既存の教材等のコンテンツの活用法を検討
- ・短時間指導事例の拡充



第2回情報モラル教育推進会議では、事業の進捗状況を確認するとともに、家庭部会が作成したリーフレットの内容と配付後の活用に関する検討を行いました。また、学校部会が進めている児童生徒の情報モラル実態調査や、一単位時間の授業及び短時間扱いの指導事例について意見交換を行い、今後の取組の方向性について確認しました。

## 1 家庭における推進検討部会

### 【事務局報告】

- ・親子で学べるゲーム的な要素を含みながら、幅広い年代に受け入れられる内容であることを意識して、クロスワードを取り入れたリーフレットとした。
- ・ステップ1(初級編)が小学生向け、ステップ2(上級編)が中学生向け、ステップ3として家庭内でのルール決めという構成にした。
- ・クイズの解答や過去のリーフレットが見られるようQRコードの挿入も実施した。
- ・11月10日(日曜)のPTAフェスティバルで来場者に配付し、冬休み前に市内の小・中学校の児童生徒に配付する。

### 【各委員からの提言】

- ・小学生が自力で解くのは難しい印象だが、解けたときには爽快感がある。
- ・小学生にとっては分からないフレーズが多いことから、親子で一つ一つの言葉のやり取りができ、スマートフォン等と正しく向き合う素地ができる。
- ・配付時期には保護者が集まるPTA行事がないため、扱いの難しさを感じている。広報にも力を入れてほしい。

## 2 学校における推進検討部会

### 【事務局報告】

- ・CBT調査の結果から、スマートフォン等の使用ルールやマナーの理解は高いものの、実際は守れていない実態である。
- ・使用ルールを守る意識を高める手立てや指導の検討、市全体に効果的な指導法を周知する等の対策が必要。
- ・12月の部会までに、各校で短時間指導、一単位時間の授業を実践し、その後、2回目のCBT調査を実施し、児童生徒の変容を見る。

### 【各委員からの提言】

- ・情報モラルの知識を十分に持っていても、実際に行動できるかは別の話になる。実態調査の結果から、仙台市では、基礎的な知識は身に付いていると言える。
- ・抽出された学校では、実態がしっかり把握できているからこそ、課題解決に取り掛かれる。将来的に全市で調査をして、どんなところに課題があるか見極めながら指導をしていきたい。
- ・疑似体験的な教材は多数存在するが、適切に使用することが浸透していない。今後は、このような教材の短時間指導も含め、授業で活用していく方向での推進が必要になってくる。
- ・今後は、情報モラルだけでなく、情報活用能力全体を育成する視点を持って学習指導に臨む必要がある。

### 3 今後の予定

#### **【家庭における推進検討部会】**

- ・リーフレット配付後の小・中学校での活用における成果や課題について検証を行う。

#### **【学校における推進検討部会】**

- ・授業実践を基に、短時間・一単位時間の指導について、教材や実践ガイドの指導例が一目で見つけられるような「活用の手引(仮)」を作成する。